

高等学校 令和5年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～ G組

教科担当者：中村

使用教科書：（詳説日本史（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解している。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。	○我が国の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れてに向けて構想したりする力を養う。 ○考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。 ○多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1. 古代国家の形成 【知識及び技能】 ・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立、国家の形成と古墳文化などを基に、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、原始から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 ・原始・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関する情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自然環境と人間の生活とのかかわり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への変化と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・原始・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	教科書、資料、ワークシートを用い 単元の内容の整理 諸資料の読みとり 多面的多角的な考察 を実施 ①旧石器時代の暮らし ②縄文時代の暮らし ③弥生時代の暮らしと文化 ④弥生時代の小国 ⑤古墳とヤマト政権 ⑥中国・朝鮮半島諸国とヤマト政権 ⑦ヤマト政権の政治体制 ⑧古墳時代の文化	【知識・技能】 ワークシート 定期考査 【思考・判断・表現】 ワークシート 定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート	○	○	○	15
			定期考査			○
2. 律令国家の形成と再編 【知識及び技能】 ・律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 ・古代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関する情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中国大陸・朝鮮半島との関係、隋・唐など中国 王朝との関係と政治や文化への影響に着目して、主題を設定し、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 ・歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。	教科書、資料、ワークシートを用い 単元の内容の整理 諸資料の読みとり 多面的多角的な考察 を実施 ①飛鳥時代初期（推古朝）の大改革 ②飛鳥時代中期（皇極朝・孝徳朝）の大改革 ③飛鳥時代後期（斉明朝・天智朝）の大改革 ④飛鳥時代後期（天武朝・持統朝）の大改革 ⑤律令国家体制の成立 ⑥律令国家体制①（中央政府と官職） ⑦律令国家体制②（行政区画と地方府） ⑧律令国家体制③（古代の経済） ⑨7～9世紀の東アジア諸国との外交 ⑩奈良時代の政治 ⑪奈良時代の民衆と土地制度 ⑫天平文化 ⑬平安時代の始まり ⑭平安時代初期の政治改革 ⑮弘仁・貞観文化	【知識・技能】 発問 ワークシート 【思考・判断・表現】 行動観察 ワークシート 【主体的に学習に取り組む態度】 行動観察 ワークシート	○	○	○	18
			定期考査			○

3. 貴族政治の展開及び武士の出現	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係に着目して、主題を設定し、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。 	<p>教科書、資料、ワークシートを用い 単元の内容の整理 諸資料の読みとり 多面的多角的な考察 を実施</p> <p>①藤原北家が摂関家になる道 ②国風文化 ③平安時代の土地制度 ④武士の登場</p>	<p>【知識・技能】 発問 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 行動観察 ワークシート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 行動観察 ワークシート</p>	○	○	○	6
4. 院政と武士の躍進	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貴族政治の変容と武士の政治進出、土地支配の変容などを基に、古代から中世への時代の転換を理解している。 中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 権力の主体の変化、東アジアとの関わりなどに着目して、古代から中世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 時代の転換に着目して、中世の特色について多面的・多角的に調査し、時代を通観する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。 	<p>教科書、資料、ワークシートを用い 単元の内容の整理 諸資料の読みとり 多面的多角的な考察 を実施</p> <p>①後三条天皇の親政 ②院政の始まりと権力の分掌 ③保元・平治の乱 ④平氏政権の繁栄 ⑤平氏政権の崩壊と鎌倉幕府の成立</p>	<p>【知識・技能】 発問 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 行動観察 ワークシート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 行動観察 ワークシート</p>	○	○	○	8
5. 武家政権の成立	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。 中世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 公武関係の変化、宋・元（モンゴル帝国）などユーラシアとの交流と経済や文化への影響などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、中世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。 	<p>教科書、資料、ワークシートを用い 単元の内容の整理 諸資料の読みとり 多面的多角的な考察 を実施</p> <p>①鎌倉幕府の成立とその特徴 ②執権政治の開始と幕府勢力の変化 ③執権政治の定着と幕府勢力の変化 ④蒙古襲来 ⑤武士の社会 ⑥産業の発展 ⑦鎌倉幕府の滅亡 ⑧建武の新政 ⑨室町幕府の成立 ⑩室町幕府の安定 ⑪室町幕府の政治体制と経済基盤 ⑫室町時代の東アジアとの交流 ⑬産業の発展 ⑭庶民の台頭 ⑮室町幕府の衰退 ⑯室町文化 ⑰戦国大名の登場</p>	<p>【知識・技能】 発問 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 行動観察 ワークシート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 行動観察 ワークシート</p>	○	○	○	23
定期考査				○	○		1
6. 織豊政権	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解している。 近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現している。 時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に調査し、時代を通観する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近世の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。 	<p>教科書、資料、ワークシートを用い 単元の内容の整理 諸資料の読みとり 多面的多角的な考察 を実施</p> <p>①ヨーロッパ人と日本人の出会い ②織田信長の統一事業 ③豊臣秀吉の天下統一 ④豊臣秀吉の統一政権としての国内政策 ⑤豊臣秀吉の統一政権としての外交政策 ⑥桃山文化</p>	<p>【知識・技能】 発問 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 行動観察 ワークシート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 行動観察 ワークシート</p>	○	○	○	12
定期考査				○	○		1

2
学
期

3 学 期	<p>7. 幕藩体制の成立と展開</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。 近世の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現している。 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近世の日本と東アジアについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。 	<p>教科書、資料、ワークシートを用い、単元の内容の整理、諸資料の読みとり、多面的多角的な考察を実施</p> <p>①徳川家康の統一事業 ②徳川将軍家と大名の力関係 ③幕府による天皇・朝廷の統制 ④幕府による宗教の統制 ⑤江戸時代初期の外交 ⑥「鎖国」政策への転換 ⑦「鎖国」下の貿易窓口 ⑧寛永期の文化 ⑨江戸時代の身分制度 ⑩幕府・藩による農民支配 ⑪城下町と幕府・藩による町人支配</p>	<p>【知識・技能】 発問 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 行動観察 ワークシート</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 行動観察 ワークシート</p>	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
							合計